

がくしゅう
学習する ぶんぽう
文法うけみ
受身① passive sentence

ぶん わたし
文について、「私」はどうか、
ちゅうしん かんが あらわ
「私」を中心に考えて表したとき、
「受身」の文になります。

どうし かたち じゅんじょ か
動詞の形と、ことばの順序が変わります。
いろいろな形の文を受身にしてみましよう。

学習する文法

1 人は+人を+他動詞^{たどうし}

(例) ^{れい}先生は、^{せんせい}私を^よ呼びました。



私は、先生に^よ呼ばれました。(～a+れる)

2 人は+人に+他動詞/自動詞^{じどうし}

(例) ^{おう}王さんは、私に^{たの}頼みました。



私は、王さんに^{たの}頼まれました。

学習する文法

3-1 ^{ひとびと}(人々は) + 人を + 他動詞

だれがそのことをしたのか、よくわからないとき、
また、だれがしたか、^{たいせつ}大切でないとき、言わないことがあります。

(例) 1964年に(^{にほん}日本は)^{とうきょう}東京でオリンピックを^{ひら}開きました。



1964年に東京でオリンピックが開かれました。

3-2 (人々は) + 人を + 他動詞～ています

(例) (人々は)^{こうじょう}工場でロボットを^{つか}使っています。



ロボットは、工場で使われています。

学習する文法

3-3 人は+何かを+他動詞

他動詞が「新しく作る、^{あたら}つく、^{はつめい}発明する、^{はっけん}発見する」のグループのとき、そのことをした人を、「によって」の形ではっきり表します。

(例) ベルは、^{でんわ}電話を**発明**しました。



電話は、ベル**によって**発明されました。